

目次

このガイドラインの目的	1
委員名簿	1
1. 廃棄物の現状について	2
1.1 あなたの会社の廃棄物処理の状況は？	3
1.2 発生量はどの程度？	6
1.3 減量化率はどの程度？	7
2. 自己評価について	8
2.1 自己評価システムとは	9
2.2 自己評価システムの構成	10
2.3 自己評価システムの効果	11
2.4 ISO14001 と自己評価システムとの関係	13
3. 自己評価の実施手順	14
3.1 廃棄物に関する基本方針	15
3.2 自己評価実施体制の整備	16
3.3 基礎情報の収集	17
3.4 目標値の設定	18
3.5 廃棄物処理計画の作成	19
3.6 廃棄物適正処理マニュアルの作成	20
3.7 自己評価の実施	22
3.8 自己評価結果の整理	23
3.9 自己評価システムの見直し	24
基準値	25

このガイドラインの目的

このガイドラインは、業種や事業所規模に関係なく、全ての事業所で、廃棄物の適正処理とその自己評価を行うための手引きとして作成しました。

県内には、廃棄物処理体制を整備し、既に ISO14001 の取得等で、廃棄物処理を含む環境管理を行っている事業所から、まだ廃棄物処理の体制が十分に整っていない事業所まで、様々な事業所があります。

このガイドラインは、基本的に、まだ廃棄物処理体制が十分に整っていない事業所が、これを利用して、廃棄物処理体制を整備できるように作成しています。

できるだけ簡易に自己評価を行うことを目的に作成していますので、これを出発点として、各事業所でよりレベルの高い廃棄物処理及び自己評価の実施を目指すようにして下さい。

同時に、廃棄物処理の体制整備だけでなく、自己評価システムを構築することによって、簡易的な ISO14001 の導入手引きとしても活用していただきたいと考えています。

最後に、このガイドライン作成にご協力いただいた関係各位にお礼申し上げるとともに、このガイドラインが各事業所における廃棄物の適正処理と自己評価の推進のお役に立てば幸いに存じます。

奈良県産業廃棄物自己評価ガイドライン作成委員会委員名簿

南 村 正 (委員長)	シャープ(株) 情報システム事業本部環境推進センター所長
来田村 實 信	滋賀県立大学 工学部助教授
山 田 秀 明	佐藤薬品工業(株) 製造部部長待遇
山 本 芳 雄	(社)奈良工業会 事務局長

奈良県産業廃棄物自己評価ガイドラインワーキング部会委員名簿

佐 藤 静 雄	テイヒュー(株)奈良工場 製造課長
澤 明 廣	積水化学工業(株) 設備安全環境課課長
中 川 稔	松下電器産業(株) 電化・住設社奈良総務センター施設課係長
中 島 國 夫	ニッタ(株)奈良工場 エンジニアリンググループ工務チームリーダー
中 西 大 樹	(株)トーマ 総務部長
中 村 進 一	ニチアス(株)王寺工場 設備技術課担当課長
西 浦 敏	奈良県瓦センター協業組合 製造部工場長
林 隆 司	岡村印刷工業(株) 管理本部総務課課長
福 井 清 康	三和澱粉工業(株) 環境監理課課長
藤 本 茂	秋津鋼材(株) 製造部課長
松 下 慶 太	光洋精工(株)ステアリング事業本部奈良工場 工務部総務課長
吉 井 秀伝志	住江織物(株)奈良事業所 テクニカルセンター課長